

第 1 章 調査の目的と概要

1 調査の目的

調布市は、調布市基本構想（平成25年度～令和4年度）及び調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）に基づき、総合的かつ計画的なまちづくりを進めています。

調布市基本計画では、計画期間中の各施策の成果を図る目安として「まちづくり指標」を設定しています。

調布市民意識調査は、「まちづくり指標」の現状値や、市民が日常感じているくらしの満足度、市の施策に関する市民ニーズ等を把握し、今後の市政・まちづくりに活用することを目的としています。

また、調布市は平成27年10月に「調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「調布市総合戦略」という。）を策定しました。調布市総合戦略は、やがて訪れる人口減少、本格的な超高齢社会に対して、将来にわたって活力ある豊かな地域社会を維持し、だれもがより安心して快適に暮らせるまちづくりを総合的に推進していくための施策展開を戦略として定めたものです。

調布市総合戦略においても、施策の効果を検証するため、成果指標を設けており、本調査により数値を把握することとしています。

2 本報告書の特徴

「まちづくり指標」の現状値を把握

基本計画（令和元年度～令和4年度）の分野別計画では、全31施策、87項目のまちづくり指標を設定しています。そのうち、本調査により把握する指標は19施策29指標となっています。

これらの指標について令和3年度における現状値を把握するとともに、経年変化の比較を、表やグラフを用いて、分かりやすく記載しています。

満足度と優先度の両面から分析

効果的・効率的に行財政運営を進めるため、市民が普段のくらしの中で感じている、市政全般に対する満足度と合わせて、今後、優先的に解決、改善、向上に向け取り組むべきと思う施策の優先度を把握することにより、今後、重点的に力を入れて改善すべき分野を分析しています。

調布市総合戦略に位置付けた「基本目標における数値目標」及び「重要業績評価指標(KPI※)」の現状値を把握

調布市総合戦略では、施策の効果を客観的に検証するため、基本目標ごとに数値目標を、また、施策ごとに重要業績評価指標(KPI)を設定しています。

本調査により把握する指標は、数値目標全12指標のうち7指標、KPI全50指標のうち19指標となっており、そのうち数値目標3指標、KPI12指標が、基本計画で設定しているまちづくり指標と連動しています。本調査を通して調布市総合戦略の施策の効果を客観的に検証できるようになっています。

※ 重要業績評価指標(KPI)…Key Performance Indicatorの略。各施策の効果を客観的に検証するため、施策ごとに設定する成果指標をいう。

【図表 調布市基本構想・基本計画・総合戦略の計画期間】

| 年度 (西暦) | H25 (2013) | H26 (2014) | H27 (2015) | H28 (2016) | H29 (2017) | H30 (2018) | H31/R1 (2019) | R2 (2020) | R3 (2021) | R4 (2022) | |
|------------|---------------|---------------|------------------------------|---------------|---------------|---------------|------------------|--------------|--------------|--------------|--|
| 基本構想 | 調布市基本構想 | | | | | | | | | | |
| 基本計画 | 前期基本計画 | | | | | | | | | | |
| | | | 修正基本計画 | | | 後期基本計画 | | | | | |
| 総合戦略 | | | 調布市総合戦略 (令和元年度から基本計画と一体化) | | | | | | | | |
| 市長任期 | | | | | | | | | | | |

3 調査の内容（設問の構成）

調査の設問は、「回答者の属性等」、「まちの魅力と今後の定住意向」、「新型コロナウイルス感染症の影響」、「市政全般（くらし）」、「日ごろの意識や行動」、「公共施設マネジメント」の6区分で構成されており、具体的な設問内容は以下のとおりです。

【図表 設問の構成】

| 問 | 設問 内容 | 基本計画 まちづくり指標 (R1~4) | 報告書 掲載頁 |
|------------------------|--|---------------------------|------------|
| 回答者の属性等 | | | |
| 1 | 性別 | | 15 |
| 2 | 年齢（令和4年1月1日現在） | | 15 |
| 3 | 家族構成 | | 16 |
| 4 | 同居する家族 | | 16 |
| 5 | 職業 | | 17 |
| 5-1 | 通勤（就業）・通学先 | | 17 |
| 6 | 主に使っている情報通信機器 | | 18 |
| 6-1 | 普段閲覧・活用しているSNS | | 21 |
| 7 | 居住する住居形態 | | 21 |
| 8 | 現在の居住地域 | | 22 |
| 9 | 居住年数 | | 23 |
| 10 | 以前の居住地域 | | 23 |
| 10-1 | 調布市に住んだきっかけ | | 24 |
| 10-2 | 家族構成や家族の状況が変わった理由 | | 25 |
| まちの魅力と今後の定住意向 | | | |
| 11 | あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。 | | 42 |
| 11-1 | 親しみや愛着を感じる場所はどんなところですか。 | | 44 |
| 12 | あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。 | | 45 |
| 12-1 | あなたは、調布のまちの魅力や個性・特色は何だと思いますか。 | | 48 |
| 12-2 | 「転出したい」「転出するつもりでいる」と思う理由 | | 51 |
| 新型コロナウイルス感染症の影響 | | | |
| 13 | 新型コロナウイルス感染症の流行前（令和2年1月頃）と現在を比べて、あなたの生活にどのような影響や変化がありましたか。 | | 54 |
| 14 | 緊急事態宣言期間中（令和3年7月12日～9月30日）と現在を比べて、あなたの生活にどのような影響や変化がありましたか。 | | 67 |
| 15 | あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で不安を感じていることがありますか。 | | 80 |
| 15-1 | 緊急事態宣言期間中（令和3年7月12日～9月30日）と現在を比べて、不安の感じ方に変化はありましたか。 | | 93 |
| 16 | あなたは、新型コロナワクチンについて、現在不安を感じていることがありますか。 | | 106 |
| 17 | 新型コロナウイルス感染症の流行前（令和2年1月頃）と現在を比べて、利用頻度に変化はありましたか。 | | 111 |
| 18 | 新型コロナウイルス感染拡大に伴う市独自の対策についてどう思いますか。 | | 117 |
| 市政全般（くらし） | | | |
| 19 | 次のそれぞれの取組に関して、普段のくらしの中で感じている「①満足度」と、今後における市の取組としての「②優先度」をうかがいます。 | | 119 |

| 設 問 | | 基本計画 まちづくり指標 (R1~4) | 報告書 掲載頁 |
|-------|---------------------------------------|---------------------------|------------|
| 問 | 内 容 | | |
| 基本目標1 | 地震への災害対策 | | 129 |
| | 風水害などへの災害対策 | | |
| | 火災などへの消防対策 | | |
| | 防犯対策 | | |
| 基本目標2 | 子育て支援サービス | ○ | 131 |
| | ひとり親家庭への生活面・経済面の支援 | | |
| | 小・中学校の教育 | | |
| | 青少年の非行防止や健全育成対策 | | |
| | 就労などの面で困難をかかえる若者への支援 | | |
| 基本目標3 | 高齢者の福祉 | | 134 |
| | 障害者の福祉 | | |
| | 労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組 | | |
| | 健康診断などの保健サービス | | |
| | 医療体制の充実 | | |
| | 共生社会の充実・パラハートちょうふの取組 | | |
| 基本目標4 | 図書館 | ○ | 137 |
| | たづくりを中心とした生涯学習 | | |
| | スポーツ振興 | | |
| | 公民館 | ○ | |
| 基本目標5 | 地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援 | | 139 |
| 基本目標6 | 日常の買い物の便利さ | ○ | 141 |
| | 市内工業・商業などの活力 | | |
| | 市内中小企業に対する支援 | | |
| | 深大寺地域などの観光振興 | | |
| | 調布市花火大会（映画のまち調布花火） | | |
| | 「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組 | ○ | |
| | グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動 | | |
| | 歴史・文化財の保存や継承 | | |
| 基本目標7 | 街並み・景観 | | 145 |
| | 中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい | | |
| | 自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備） | | |
| | 道路の整備（新設、拡幅を伴う改良） | | |
| | 既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等） | | |
| 基本目標8 | 緑や自然環境の保全 | | 149 |
| | 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組 | | |
| | 公園や遊び場 | | |
| | ごみ処理 | | |
| | 生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策） | ○ | |

第1章 調査の目的と概要

| 設 問 | | 基本計画 まちづくり指標 (R1~4) | 報告書 掲載頁 |
|-------------------------|--|--|------------|
| 問 | 内 容 | | |
| | まちづくりの基本理念 を実現するために | 平和・国際交流の取組 | 152 |
| | | 人権に関する啓発・相談 | |
| | | 女性の社会参加・参画 | |
| | | 多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組 | |
| | 行革プラン2019 | 市民参加と協働の取組 | 154 |
| | | 市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信 | |
| | | ホームページの見やすさ | |
| | | 民間活力の活用の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組 | |
| | | 窓口・電話における職員の対応 | |
| | | 職員数の見直しや職員給与の適正化の取組 | |
| 行政サービスのデジタル化の取組 | | | |
| 公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組 | | | |
| 行政評価の取組 | | | |
| 支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など | | | |
| 19-1 | あなたは、問19の取組項目の中で、今後、市がもっと力を入れるべきだと思う取組はどれですか。 | | 159 |
| 日ごろの意識や行動 | | | |
| 20 | あなたは、日ごろからどのような防災対策に取り組んでいますか。 | ○ | 163 |
| 20-1 | 「まだ取り組んでいないし、取り組む予定もない」の主な理由をお聞かせください。 | | 172 |
| 21 | あなたは台風や地震等の災害時にどのように情報を得ていますか。 | | 173 |
| 22 | あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心して暮らせる場所だと感じていますか。 | ○ | 174 |
| 23 | あなたは、特殊詐欺被害防止のためにどのような対策をしていますか。 | | 177 |
| 24 | あなたは、この1年間に日常生活の中で、身に覚えのない請求や、しつこい勧誘など、消費生活に関するトラブルに巻き込まれそうになった経験がありますか。 | | 179 |
| 24-1 | トラブルに巻き込まれそうになった際、どちらかへ相談しましたか。 | | 181 |
| 25 | あなたは、地域福祉や高齢者福祉に関する次の相談窓口を知っていますか。 | ○ | 182 |
| 26 | あなたは、地域における交流の場（「ひだまりサロン」など）についてどのように感じますか。 | | 189 |
| 27 | あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。 | | 190 |
| 28 | あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。 | ○ | 191 |
| 29 | あなたは、健康ではりのある生活のため、趣味活動や地域活動などに参加していますか。 | | 193 |
| 30 | あなたは、定期的のがん検診を受けていますか。 | ○ | 195 |
| 31 | あなたは普段、たばこ（紙巻きたばこ・加熱式たばこ、葉巻）を吸いますか。 | | 197 |
| 32 | あなたは、調布市受動喫煙防止条例（平成31年3月公布、令和元年7月施行）を知っていますか。 | | 198 |
| 32-1 | あなたは、調布市受動喫煙防止条例により、次の場所が喫煙禁止とされていることを知っていますか。 | | 200 |
| 33 | あなたは、この1年間に、生涯学習に取り組みましたか。 | ○ | 201 |
| 34 | あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、まちづくりや仲間づくり、地域活動など自分以外のために生かしていますか。 | ○ | 203 |
| 35 | あなたは、健康・体力づくりのために体を動かしていますか。 | ○ | 205 |
| 36 | あなたは、地域の一員としての意識や地域の連帯感を感じていますか。 | ○ | 209 |
| 37 | あなたは、「地区協議会」を知っていますか。 | | 212 |

| 設 問 | | 基本計画 まちづくり指標 (R1~4) | 報告書 掲載頁 |
|------|--|---------------------------|------------|
| 問 | 内 容 | | |
| 38 | あなたは、この1年間に、地域の活動やイベントに参加しましたか。 | ○ | 214 |
| 38-1 | 参加した団体、活動、場所。 | | 216 |
| 39 | あなたは、調布市市民活動支援センター（市民プラザあくろす2階（国領駅北側コクティ内））を利用したことがありますか。 | | 223 |
| 39-1 | 利用しない理由。 | | 225 |
| 40 | あなたは、この1年間に次のイベントや施設、場所に行ったことがありますか。 | | 226 |
| 41 | 買い物や食事など、お店選びで重視していることは何ですか。 | | 234 |
| 42 | あなたは、調布市プレミアム付商品券を購入・使用しましたか。 | | 238 |
| 42-1 | あなたは、調布市プレミアム付商品券をどのように使用しましたか。 | | 239 |
| 42-2 | 今回、調布市プレミアム付商品券を利用した、「普段は利用しない店舗」について、今後も同店舗を利用しますか。 | | 240 |
| 43 | あなたは、キャッシュレス決済ポイント還元事業を利用しましたか。 | | 241 |
| 43-1 | あなたは、キャッシュレス決済ポイント還元事業をどこで利用しましたか。 | | 242 |
| 43-2 | 今回、キャッシュレス決済ポイント還元事業を利用した、「普段は利用しない対象店舗」について、今後も同店舗を利用しますか。 | | 243 |
| 44 | あなたは、市内農家の農産物直売所（市内スーパーの直売コーナー、農協直売コーナーを含む）を利用していますか。 | ○ | 244 |
| 45 | あなたは、市内に農地が必要だと思いませんか。 | | 246 |
| 45-1 | 市内に農地が必要だと思理由。 | | 248 |
| 46 | あなたは、この1年間に、市内・市外を問わず、芸術文化（音楽、演劇、美術、舞踊等伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら芸術文化活動を行いましたか。 | | 249 |
| 46-1 | 芸術文化を鑑賞した、または芸術文化活動を行った場所。 | ○ | 251 |
| 47 | あなたは、調布市を住みよいまちだと思いませんか。 | ○ | 253 |
| 48 | あなたは、調布市内に優れた景観の場所があると思いませんか。 | ○ | 256 |
| 48-1 | 優れた景観だと思場所。 | | 258 |
| 49 | あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いませんか。 | ○ | 259 |
| 50 | あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的なまちであると思いませんか。 | ○ | 261 |
| 51 | あなたは、次のうち、普段どの駅を最も利用しますか。 | | 263 |
| 51-1 | あなたはその駅の周辺は利便性が高いと思いませんか。 | ○ | 264 |
| 52 | あなたは、市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いませんか。 | ○ | 268 |
| 53 | あなたは、普段利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。 | ○ | 270 |
| 54 | あなたは、市が実証実験を行っているシェアサイクルを利用したことはありますか。 | | 280 |
| 55 | あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいと思いませんか。 | ○ | 281 |
| 56 | あなたは、自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していますか。 | | 284 |
| 57 | あなたの住んでいる住居はバリアフリー（段差解消やスロープの設置など）対応になっていますか。 | ○ | 285 |
| 58 | あなたの住んでいる住居において、再生可能エネルギーを利用していますか。また、創エネルギー設備を設置していますか。 | | 288 |
| 59 | あなたは、たとえば、あなた自身や家族・親戚が所有する市内の物件について、適切な管理が行われていない空き家とならないための対策が必要だと思いませんか。 | ○ | 290 |
| 59-1 | あなたは、空き家対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思いませんか。 | | 291 |
| 60 | あなたは、これまでに戦争中の話をしたり聞いたりしたことがありますか。 | ○ | 293 |
| 60-1 | それはいつ頃ですか。 | | 295 |

第1章 調査の目的と概要

| 設 問 | | 基本計画 まちづくり指標 (R1~4) | 報告書 掲載頁 |
|-------------------|--|---------------------------|------------|
| 問 | 内 容 | | |
| 60-2 | それは誰と（誰から）戦争中の話をしたり聞いたりしましたか。 | | 296 |
| 61 | あなたは、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）に関する次の相談窓口を知っていますか。 | ○ | 297 |
| 62 | あなたは、家事・子育て・介護などの家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。 | | 301 |
| 63 | 次の場面について、あなたは男女平等だと感じていますか。 | | 304 |
| 64 | あなたは、多様な性に関してLGBTやSOGIという言葉を知っていますか。 | | 306 |
| 65 | あなたは、多様な性に関する啓発などについて、どのような取組が必要だと思いますか。 | | 307 |
| 66 | あなたは、市政・まちづくりに参加したいと思いますか。 | | 309 |
| 67 | あなたは、市民参加の取組を行うとしたら、どのような手法なら参加できますか。また、より多くの市民の意見が行政に届くには、どのような参加手法をとればよいと思いますか。 | | 310 |
| 68 | あなたの市政・まちづくりに関する情報の入手方法は何かですか。 | | 313 |
| 69 | 市議会が行っている広報・広聴活動のうち、あなたが知っているものはどれですか。 | | 321 |
| 70 | あなたが、調布市が行う行政サービスのデジタル化の取組について、特に力を入れて欲しいと思う取組。 | | 322 |
| 71 | あなたが使っているキャッシュレス決済。 | | 324 |
| 72 | 調布市がスマートシティを目指すに当たって、ICTを活用してほしい分野や、日々の生活で不便さを感じている分野。 | | 325 |
| 73 | ふるさと納税に伴う個人市民税の税額控除による、市税の減収影響が大きな問題となっています。財源確保のため、今後市が取り組むべきこと。 | | 327 |
| 74 | あなたは、国連で採択された持続可能な開発目標SDGsを知っていますか。 | | 328 |
| 公共施設マネジメント | | | |
| 75A | あなたがこの1年間で利用したことのある施設。 | | 331 |
| 75B | あなたが重要だと思う施設。 | | 335 |
| 76 | 調布市公共施設等総合管理計画では、公共施設マネジメントの基本方針として、「最適化に向けた適正な配置と総量の抑制」、「適切な維持管理・運営の推進」、「民間活力等の活用」を掲げています。それらを踏まえて、あなたが取り組んだ方が良いと考えるものは何かですか。 | | 336 |
| 77 | あなたは、この1年間に、グリーンホールを利用したことがありますか。 | | 338 |
| 77-1 | どのような目的で利用しましたか。 | | 339 |
| 78 | あなたが、グリーンホールにおけるホール機能として、最も重要だと思うものは何かですか。 | | 341 |
| 79 | あなたが、グリーンホールの施設整備で優先的に力を入れて取り組むべきと考えるものは何かですか。 | | 342 |

4 調査方法及び調査期間

調査対象者

市内在住の満16歳以上の市民を対象とし、住民基本台帳から、性別・年齢・地域別の人口構成に合わせて、約3000人を無作為に抽出しました。

配布と回収

郵送により調査票の配布及び回答された調査票の回収を行いました。

※ 一部、インターネットを活用した回答受付あり

調査期間

令和4年2月4日（金）～令和4年2月21日（月）

5 回収の結果

調査票の配布数は3060件、回収数は1105件（うち、インターネット回答78件）、回収率は36.1%であり、各属性の回収結果は以下のとおりです。

【図表 属性ごとの回収結果】

| 属性 | | 対象者数 ^{※1} | | 配布数 ^{※2} | | 回収数 | | 回収率 |
|-----------|-------------------|--------------------|-------|-------------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 実数 | 構成比 | 実数(票) | 構成比 | 実数(票) | 構成比 | (%) |
| | | (人) | (%) | (a) | (%) | (b) | (%) | (b/a) |
| 総数(16歳以上) | | 206,536 | 100.0 | 3,060 | 100.0 | 1,105 | 100.0 | 36.1 |
| 性別 | 男性 | 99,750 | 48.3 | 1,491 | 48.7 | 462 | 41.8 | 31.0 |
| | 女性 | 106,786 | 51.7 | 1,569 | 51.3 | 622 | 56.3 | 39.6 |
| | 回答しない (無効回答) | — | — | — | — | 9 | 0.8 | — |
| 年齢 | 16～19歳 | 7,858 | 3.8 | 117 | 3.8 | 19 | 1.7 | 16.2 |
| | 20～29歳 | 28,974 | 14.0 | 430 | 13.9 | 70 | 6.3 | 16.3 |
| | 30～39歳 | 31,349 | 15.2 | 464 | 15.3 | 117 | 10.6 | 25.2 |
| | 40～49歳 | 38,346 | 18.6 | 568 | 19.1 | 187 | 16.9 | 32.9 |
| | 50～59歳 | 36,155 | 17.5 | 535 | 17.0 | 197 | 17.8 | 36.8 |
| | 60～69歳 | 23,163 | 11.2 | 342 | 11.2 | 180 | 16.3 | 52.6 |
| | 70歳以上 (無効回答) | 40,691 | 19.7 | 604 | 19.7 | 327 | 29.6 | 54.1 |
| 年齢 内訳 | 60～64歳 | 12,325 | 6.0 | — | — | 102 | 9.2 | — |
| | 65～69歳 | 10,838 | 5.2 | — | — | 78 | 7.1 | — |
| | 70～74歳 | 13,129 | 6.4 | — | — | 169 | 15.3 | — |
| | 75歳以上 | 27,562 | 13.3 | — | — | 158 | 14.3 | — |
| 地域 | 西部地域 | 36,674 | 17.8 | 544 | 17.8 | 184 | 16.7 | 33.8 |
| | 北部地域 | 43,998 | 21.3 | 652 | 21.3 | 231 | 20.9 | 35.4 |
| | 南部地域 | 73,630 | 35.6 | 1,091 | 35.6 | 383 | 34.7 | 35.1 |
| | 東部地域 | 52,234 | 25.3 | 773 | 25.3 | 287 | 26.0 | 37.1 |
| | (無効回答) | — | — | — | — | 20 | 1.8 | — |
| 地域 内訳 | 南部地域 (中心市街地) | 32,907 | 15.9 | — | — | 149 | 13.5 | — |
| | 南部地域 (中心市街地以外) | 40,723 | 19.6 | — | — | 234 | 21.2 | — |

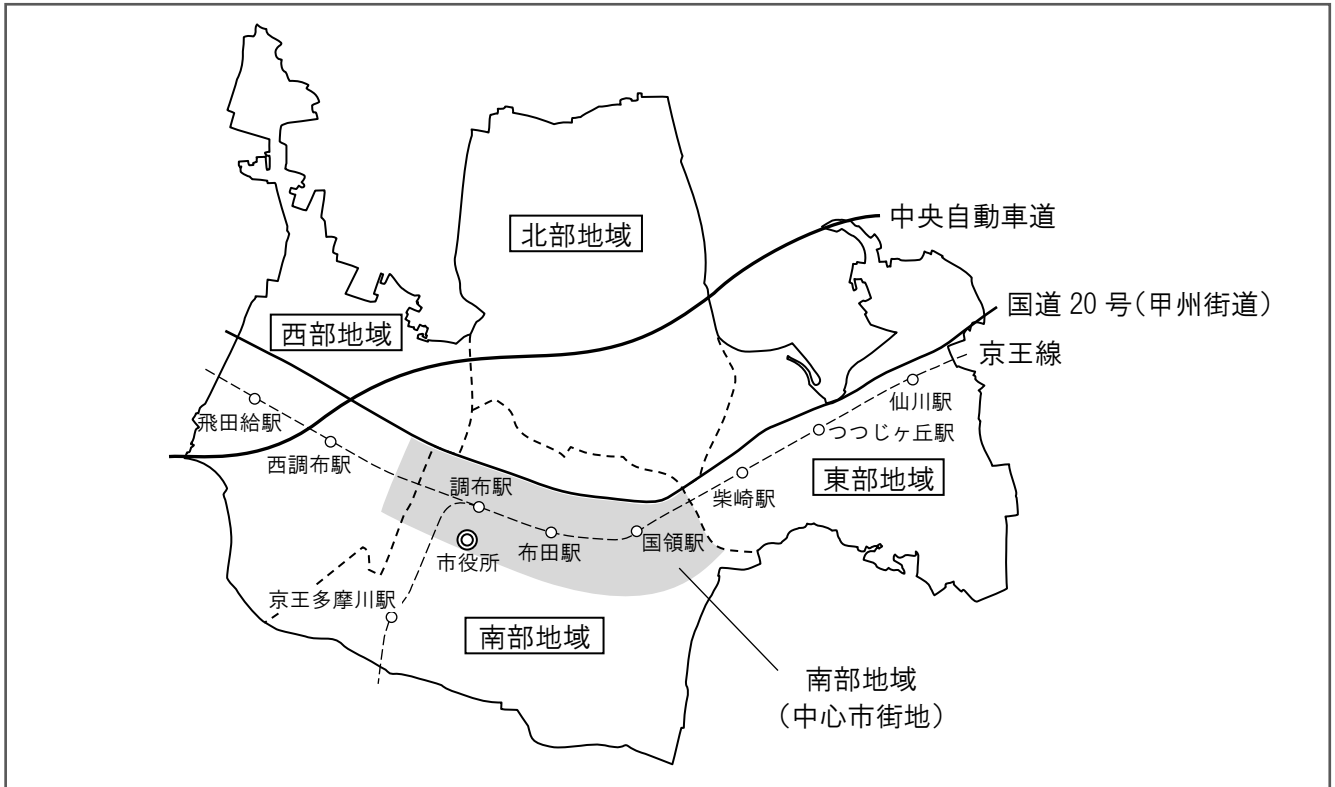
※1 令和3年12月1日現在の16歳以上の住民基本台帳登録者数（日本人のみ）

※2 宛名不明等の理由により返送された分を含む

6 地域区分

本調査における地域区分は、以下のとおりです。

【図表 各地域の位置と対象となる町丁目】



| 1 西部地域 | 2 北部地域 | 3 南部地域 (中心市街地) | 4 南部地域 (中心市街地以外) | 5 東部地域 |
|--|--|---|---|--|
| 飛田給 1～3 丁目 上石原 1～3 丁目 富士見町 1～4 丁目 下石原 1～3 丁目 多摩川 1～2 丁目 野水 1～2 丁目 西町 | 佐須町 1～5 丁目 柴崎 1～2 丁目 調布ヶ丘 3～4 丁目 深大寺元町 1～5 丁目 深大寺北町 1～7 丁目 深大寺東町 1～8 丁目 深大寺南町 1～5 丁目 | 小島町 1～2 丁目 布田 1～4 丁目 国領町 1～5・8 丁目 | 小島町 3 丁目 布田 5～6 丁目 国領町 6～7 丁目 染地 1～3 丁目 多摩川 3～7 丁目 調布ヶ丘 1～2 丁目 八雲台 1～2 丁目 | 菊野台 1～3 丁目 東つつじヶ丘 1～3 丁目 西つつじヶ丘 1～4 丁目 入間町 1～3 丁目 仙川町 1～3 丁目 緑ヶ丘 1～2 丁目 若葉町 1～3 丁目 |

<参考> 回答率の推移

| 調査年度 | 回答率 | 調査対象者 | 備考 |
|----------|-------|----------|-----------------------------|
| 平成 24 年度 | 42.2% | 満 18 歳以上 | |
| 平成 25 年度 | 50.8% | 満 16 歳以上 | ※平成 25 年度以降, 調査対象者は満 16 歳以上 |
| 平成 26 年度 | 49.1% | 満 16 歳以上 | |
| 平成 27 年度 | 48.2% | 満 16 歳以上 | |
| 平成 28 年度 | 48.7% | 満 16 歳以上 | |
| 平成 29 年度 | 45.0% | 満 16 歳以上 | |
| 平成 30 年度 | 45.1% | 満 16 歳以上 | |
| 令和元年度 | 44.7% | 満 16 歳以上 | |
| 令和 2 年度 | 45.0% | 満 16 歳以上 | |

7 報告書を見る際の注意事項

(1) 集計方法

○本調査では、回答全体（n=1105）をまとめて集計した「単純集計」のほか、過去の調査結果との「経年比較」や、性別や年齢層などの属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。なお、属性によっては、回答数が少ないため、本調査の結果が調布市における当該属性の傾向と異なる可能性があることをご理解のうえ、調査結果をご覧ください。

(2) 数値の端数処理方法

○回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合や、内訳の合計が、表示されている値と一致しない場合があります。

○上記比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています。

(3) その他

○本文及び図表において、設問選択肢の表記の長いものについては、煩雑さを避けるために、一部で表記を簡略化しています。

○一般的に、意識調査を実施する際に1100件程度を対象とすれば母集団全体（本調査では市の人口に相当）の意見との誤差は±3%以内に収まるとされています。本調査の対象者数約3000人（回収数1105件）は調査結果を見るうえで、統計上有効な数値であると考えられます。

(参考) 意識調査の必要サンプル数の計算方法

一般的な統計理論では、「〇〇について賛成か、反対か」という設問の場合、必要サンプル数は以下の式で求められます。

必要なサンプル数＝信頼水準の2乗×回答比率×(1－回答比率)÷目標誤差(%)の2乗

(本調査の必要サンプル数： $(1.96)^2 \times 0.5 \times (1-0.5) \div (0.03)^2 \approx 1,067$ (票))

信頼水準：正しく判断できる確率のこと。一般的に国などが行っている標本調査では、95%に対応する「1.96」という値が用いられる。

回答比率：賛成または反対の回答比率として設定するもの。通常は、調査対象者数が最大となる「0.5」を用いる。

目標誤差：標本調査（サンプリング調査）と全数調査の結果の間に生じる誤差（標本誤差）の目標値。本調査では±3.0%以内とするので、「0.03」とする。

資料：総務省統計局ホームページ

